

MORESCO (5018)

連結通期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY02/2023		30,333	523	1,046	615	66.19	40.00	2,008.49
FY02/2024		31,886	1,225	1,826	1,283	139.01	45.00	2,179.85
FY02/2025会予		34,000	1,500	1,850	1,050	114.50	45.00	-
FY02/2024	前年比	5.1%	134.2%	74.6%	108.8%	-	-	-
FY02/2025会予	前年比	6.6%	22.5%	1.3%	(18.2%)	-	-	-
連結四半期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q FY02/2024		7,596	257	395	224	-	-	-
2Q FY02/2024		7,790	271	538	345	-	-	-
3Q FY02/2024		8,345	522	766	766	-	-	-
4Q FY02/2024		8,155	175	127	(52)	-	-	-
1Q FY02/2025		8,254	189	450	250	-	-	-
1Q FY02/2025	前年比	8.7%	(26.3%)	13.8%	11.6%	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1.0 エグゼクティブサマリー (2024年9月6日)

調整と回復

自動車を中心とする多用途に用いられる化学品の研究開発・製造・販売を展開する MORESCO の短期的な営業利益率は低下することを余儀なくされているものの、2025年2月期を通じた業績推移に引き続いてそれ以降に向けても右肩上がりでの推移を示すとされている。2025年2月期第1四半期においては前年同期に対する売上高及び売上総利益の増加が達成されていることに加えて、売上総利益率の向上も達成されている。ただし、営業利益率の段階においては、販売管理費の増加に伴う影響がより大きくなっている。中長期的な観点における成長ポテンシャルを引き上げていくことを目的とする海外子会社の新規連結に伴う費用の増加が発生していることや開発案件に係る費用の計上が集中しているとのことである。売上総利益率が高いハードディスク表面潤滑剤の売上高が回復局面を迎えているのだが、第1四半期の実績においては上述にある販売管理費の増加を補うまでには至っていないとされている。一方、中期的な観点においては上述の新規連結に伴う損益の影響がしだいに好転していく見通し。また長期的にはペロブスカイト太陽電池の実用化を促進する封止材の製造・販売や画期的な機能性を有するとされるナノエマルジョン (MORESCO-NANOREACH) を配合した化粧品の開発・製造・販売などが業績に寄与していくことが期待される。

IR 担当: 取締役 上席執行役員 CFO サステナビリティ担当 藤本 博文

(078-303-9010 / hirofumi_fujimoto@moresco.co.jp)

2.0 会社概要

“境界領域”のスペシャリスト

商号	株式会社 MORESCO Web サイト IR 情報 最新株価 
設立年月日	1958 年 10 月 27 日
上場年月日	2023 年 10 月 20 日：東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：5018） 2022 年 4 月 4 日：東京証券取引所プライム市場 2011 年 2 月 14 日：東京証券取引所第 1 部 2008 年 7 月 29 日：東京証券取引所第 2 部 2003 年 11 月 13 日：日本証券業協会店頭登録
資本金	2,118 百万円（2024 年 5 月末）
発行済株式数	9,696,500 株、自己株式内数 535,320 株（2024 年 5 月末）
特色	<ul style="list-style-type: none">● 独立系の化学品メーカー、自動車用途で売上高構成比 45%● ニッチ市場に特化、モノとモノが触れ合う“境界領域”のスペシャリスト● 潤滑・接着・表面保護といった機能を担う化学品の研究開発・製造・販売
セグメント	I. 日本 II. 中国 III. 東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド） IV. 北米
代表者	代表取締役社長 CEO 両角 元寿
主要株主	松村石油 11.5%、コスモ石油ルブリカンツ 5.4%、MORESCO 従業員持株会 4.4%、日本曹達 3.9%、日本マスター信託口 3.8%、スターライト工業 3.5%（2024 年 2 月末、自己株式を除く）
本社	兵庫県神戸市
従業員数	連結 821 名、単体 387 名（2024 年 2 月末）

出所：会社データ

3.0 経営理念及び経営ビジョン

地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける MORESCO グループ

独立系の化学品メーカーである同社は、グループ経営理念として、1) 私たちは、「ユーザーのための研究開発」をモットーに、境界領域におけるニーズに応えることによって、社会に貢献できる企業グループを目指します、2) 私たちは、境界領域のスペシャリストとして、新しい分野へも展開をはかり、新たな機能とサービスを提供します、3) 私たちは、人間性を尊重する職場づくりと、自由な発想によって、新しい価値を創造する企業グループを目指します、以上を掲げていることに加えて、グループ経営ビジョンとして「地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける MORESCO グループ/未来のために もっと化学 もっと輝く」を掲げている。

本社・研究センター



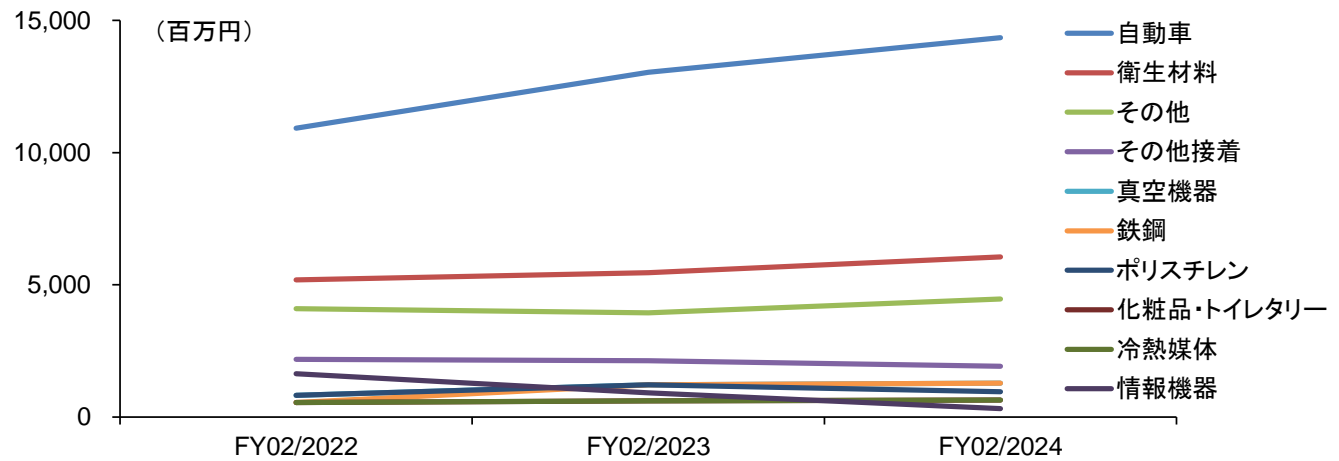
出所：会社データ

市場規模が小さいニッチ市場で圧倒的に大きなシェア

同社が研究開発・製造・販売している化学品の特徴として挙げられているのは、1) ニッチ市場に帰属していること、2) モノとモノが触れ合う“境界領域”に帰属していること、3) 自動車を中心とする多用途で用いられていること、以上である。即ち、同社においては、大手化学品メーカーが深く関与している市場規模が大きい製品に関与することなく、市場規模が小さいニッチ市場で圧倒的に大きなシェアを獲得していくことが目指されており、またこれが実際にもある程度以上に及んで達成されている。

同社によれば、1958年の創立以来、ブレンド・合成・精製技術を駆使し、オンリーワン製品やトップシェア製品を生み出し続けているとのことである。オンリーワン製品の事例としては、自動車向け高温用グリース基油（自社調査に基づく国内市場シェア：100%）が挙げられている一方、トップシェア製品の事例としては、水-グリコール系難燃性作動液（70%）、高真空ポンプ油（70%）、ダイカスト用離型剤（50%）、以上が挙げられている。なお、いわゆる“境界領域”においては、潤滑・接着・表面保護といった機能を担う化学品が必要とされているのだが、同社においては、当該領域に特化して事業展開を進めている側面が強く、この観点において同社は「“境界領域”のスペシャリスト」として位置づけられている。

売上高（用途別）



自動車	衛生材料	化粧品・トイレットリー	情報機器
			

出所：会社データ

自動車用途で売上高構成比 45%

同社としての売上高は、2023年2月期に対して30,333百万円（前年比11.1%増）であるのに引き続いて、2024年2月期に対して31,886百万円（5.1%増）である。当該期間においては、自動車用途の売上高の増加が同社としての増収に最も大きく寄与しているとされており、前者は後者の増収幅の概ね70%ほどを占めている模様である。結果、2024年2月期の実績としては自動車用途で売上高構成比45%とのことである。また、その売上高の多くは、部門別で主力となる特殊潤滑油部門に帰属する製品の売上高によって構成されている。

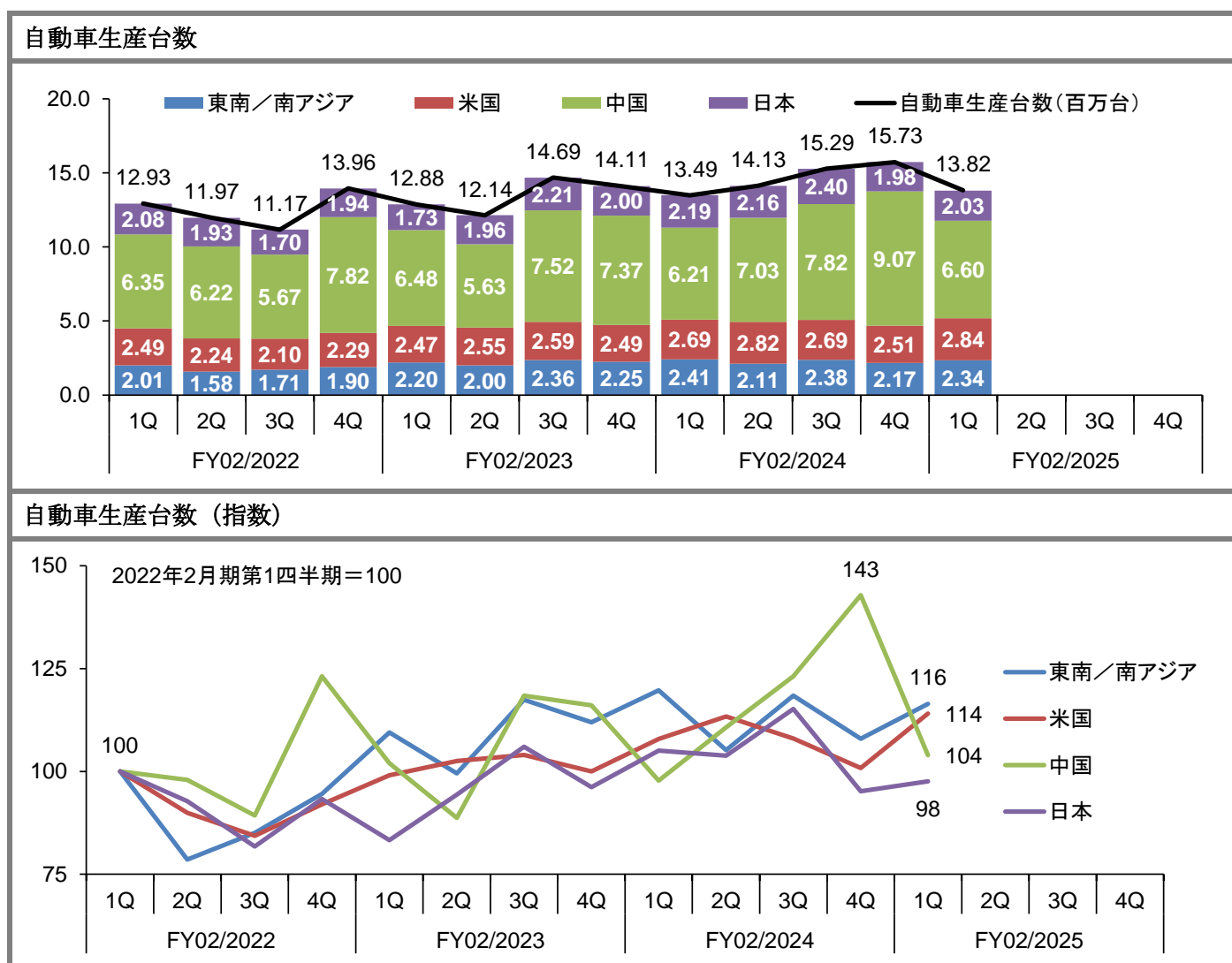
具体的には、ダイカスト油剤、切削油、鍛造油などである。作動油や真空油も特殊潤滑油部門に帰属する製品として挙げられているのだが、前者は基本的に鉄鋼用途に用いられている一方、後者に関しては多用途に用いられている側面が強いとされている。例えば、特殊潤滑油部門における主力であるダイカスト油剤は、ダイカスト用離型剤及びプランジャー潤滑油から構成されているのだが、ダイカスト用離型剤は、アルミニウムやマグネシウムといった非鉄金属の合金を素材とする自動車部品をダイカストマシンで鋳造（溶かした非鉄金属の合金を精密な金型に高速・高圧で注入し瞬時に製品を成形）する際に、高温の非鉄金属の合金と金型を離型するために用いられているとのことである。また、2025年2月期第1四半期より、旧合成潤滑油部門が特殊潤滑油部門と統合されるに至っていることから、高温用潤滑剤やハードディスク表面潤滑剤なども特殊潤滑油部門に帰属する製品となっている。なお、本レポートにおける数値は遡及修正後のデータに基づいている。

用途別で次に同社としての増収幅に対して寄与度が大きいのは、衛生材料用途（主に紙オムツ）であり、同社としての増収幅の概ね20%ほどを占めている模様である。また、その売上高はホットメルト接着剤部門（売上高構成比25.2%）の中核を形成している。

一方、情報機器用途の売上高が大幅に減少している。その減収幅は同社としての増収幅に対して概ね 30%ほどにも及んでいる模様である。情報機器用途の売上高とは、則ち、旧合成潤滑油部門に含まれていた、ハードディスク表面潤滑剤の売上高のことである。データセンター向けの高性能 HDD に搭載される HD に係る売上高がかなりの部分を占めているとされている。なお、2025 年 2 月期に入ってからの方動向においては、いわゆるデータセンター投資に係る需要が回復局面を迎えており、同社においてはこれがハードディスク表面潤滑剤の売上高に関しても回復局面をもたらしているとのことである。また、同社によれば、同社としての売上高は 10 用途に分類できることになるのだが、残る 7 用途の過去 2 年間における売上高の動向は、上述の 3 用途の売上高の動向に対して比較的限定的な動きを示すに留まっているとのことである。

自動車生産台数

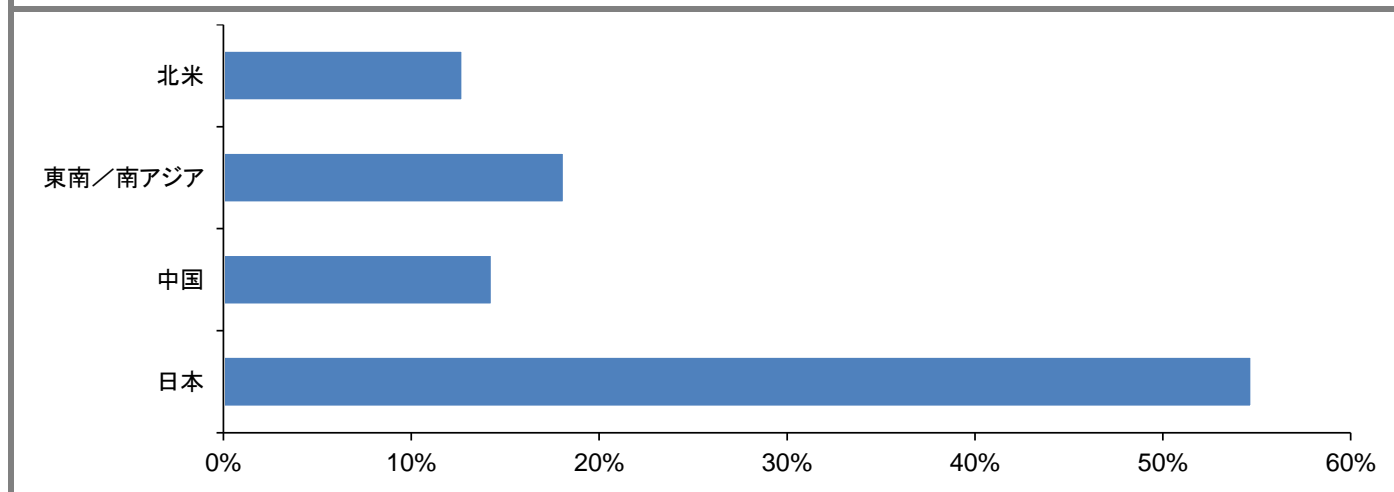
上述の通り、自動車用途に深く関与している同社は、自動車生産台数の推移を同社としての経営環境に大きな影響を与える要素として挙げている。なお、もう 1 つの要素として挙げられているのは、原材料調達コストである。2025 年 2 月期第 1 四半期の実績における自動車生産台数は、日本で 2.03 百万台（前年同期比 7%減）、中国で 6.60 百万台（6%増）、米国で 2.84 百万台（6%増）、東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド）で 2.34 百万台（3%減）である。即ち、同社の拠点所在地における自動車生産台数は、総計 13.82 百万台（2%増）で着地していることになる。



出所：会社データ、弊社計算

以上のデータの出典はマークライズ社なのだが、日本においては当該会計期間（2024年3月～2024年5月）の実績が反映されている一方、決算期末を12月とする現地の子会社を通して事業が展開されている海外に関しては、現地での会計期間（2024年1月～2024年3月）の実績が反映されており、結果的に以上の自動車生産台数は、いずれにおいても2025年2月期第1四半期の同社としての業績推移に呼応しているとのことである。

特殊潤滑油部門における地域別売上高構成比（2025年2月期第1四半期）



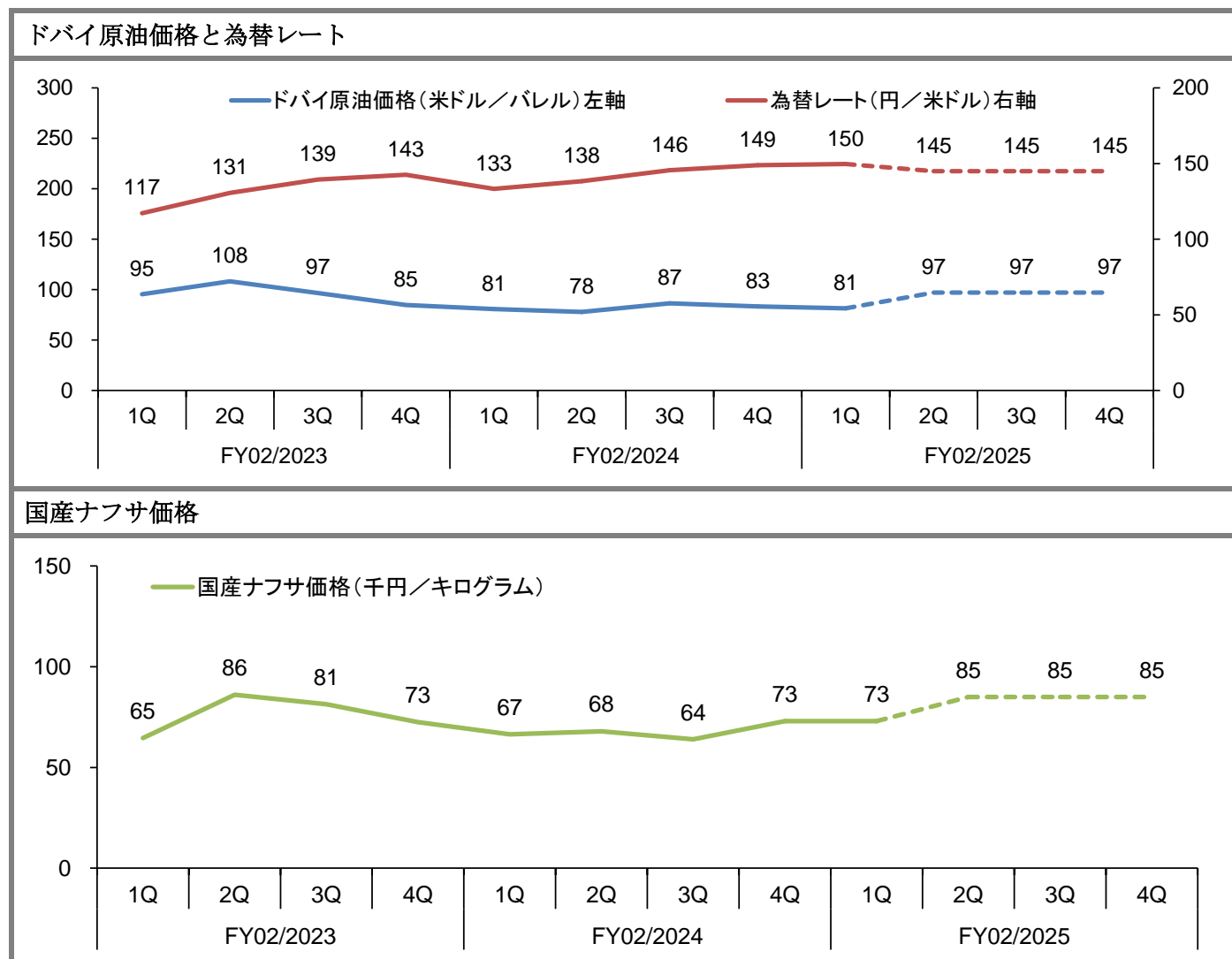
出所：会社データ、弊社計算

自動車用途の売上高のかなりの部分が含まれている、特殊潤滑油部門の地域別売上高構成比（旧合成潤滑油部門除く）においては、日本の構成比が50%を超過している。これに鑑みれば、同社としての自動車用途の売上高は、日本における自動車生産台数から特に大きな影響を受ける傾向にあると考えられよう。2024年2月期の実績においては、その前年における半導体不足に伴う減産の反動が発生しているところもあり、日本で8.72百万台（10%増）と堅調な推移が達成されているのだが、これに引き続く2025年2月期第1四半期においては、先述の通り、日本で2.03百万台（7%減）である。同社が示唆するところによれば、自動車メーカー各社における不祥事の発覚などの影響が発生している可能性があるとのことである。また、短期的な観点において急速な回復基調への転換を期待できる状況ではないとされている。

一方、2024年2月期における中国の自動車生産台数は日本よりも更に堅調な推移を示しており、2022年2月期第1四半期の水準を100とする指数においては、2024年2月期第4四半期で143にまで伸長している。電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）といった、いわゆる新エネルギー車の生産台数が大きく拡大していることが背景として挙げられている。中国における新エネルギー車の生産台数は9.59百万台（36%増）であり、現地における自動車生産台数に占める構成比は31.8%と、前年の26.1%との比較で5.7%ポイントに及んで上昇しているとのことである。また、新エネルギー車を除いた場合の中国における自動車生産台数は20.54百万台（3%増）に留まっているとのことである。一方、2025年2月期第1四半期に至る時系列的な推移における中国の自動車生産台数はかなり大幅な調整を余儀なくされている。ただし、同社が示唆するところによれば、中国における特殊潤滑油部門の売上高は堅調に推移しているとのことである。背景として挙げられているのは、現地の自動車メーカーへの製品納入や新エネルギー車への関与が徐々に立ち上がり始めていることである。

原材料調達コスト

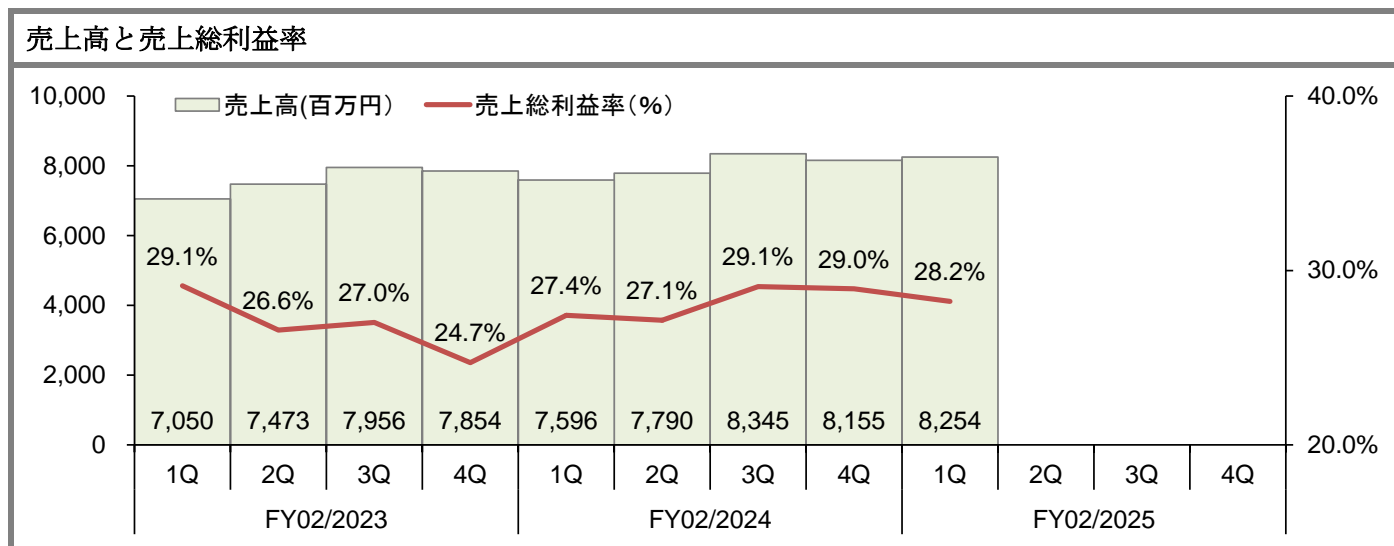
ナフサ（粗製ガソリン）に由来する原材料の仕入れに深く関与している会社においては、原油価格の動向が、会社としての原材料調達コストに対して大きな影響を及ぼしている。会社が、原材料調達コストの動向を示す指標として挙げているのは、ドバイ原油価格（米ドル／バレル）、為替レート（円／米ドル）、国産ナフサ価格（千円／キログラム）、以上である。



出所：会社データ

即ち、会社が仕入れる原材料の価格は、国産ナフサ価格（千円／キログラム）の動向によって決定される度合いが大きい一方、国産ナフサ価格（千円／キログラム）の動向は、円建てドバイ原油価格によって決定される度合いが大きいことが示唆されていると考えられよう。ドバイ原油価格（米ドル／バレル）に関しては、2025年2月期に対する会社予想の前提において97が織り込まれている一方、第1四半期の実績は81（前年同期比0.9%上昇）と、下振れた着地となっている。これに鑑みれば、会社の原材料調達コストも下振れた推移を示す方向性にあることが示唆されよう。為替レート（円／米ドル）に関しては、2025年2月期に対する会社予想の前提において145が織り込まれている一方、第1四半期の実績は150（12.3%円安）と、為替の動向においては円安に振れている傾向があり、会社の原材料調達コストを想定外に引き上げていく要因となる可能性がでてきている。

ただし、同社においては一定の米ドル建て売上高があることなどから為替変動が売上総利益の段階において及ぼす影響は限定的になるとのことである。また、国産ナフサ価格（千円／キログラム）に関しては、2025年2月期に対する会社予想の前提において85が織り込まれている一方、第1四半期の実績は73（9.8%上昇）と、下振れており、同社の原材料調達コストを想定以下に留める要因となる可能性を創出している。なお、上述のそれぞれに関する会社予想の前提は、「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立をテーマとする第10次中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）の前提としても採用されている。



出所：会社データ、弊社計算

2022年2月期に引き続いて2023年2月期においても原材料調達コストの上昇は継続しており、2023年2月期における同社としての売上総利益率が右肩下がりでの推移を余儀なくされていることに対して大きな影響を及ぼしている模様である。一方、2024年2月期における売上総利益率は右肩上がりでの推移を示すに転じている。背景として挙げられているのは、原材料調達コストの上昇が落ち着き始めていることからこれを販売価格へ転嫁する施策（販売価格の是正）が奏功し始めていることである。2025年2月期に入ってから概ね同様の推移が継続している模様である。

沿革（抄）

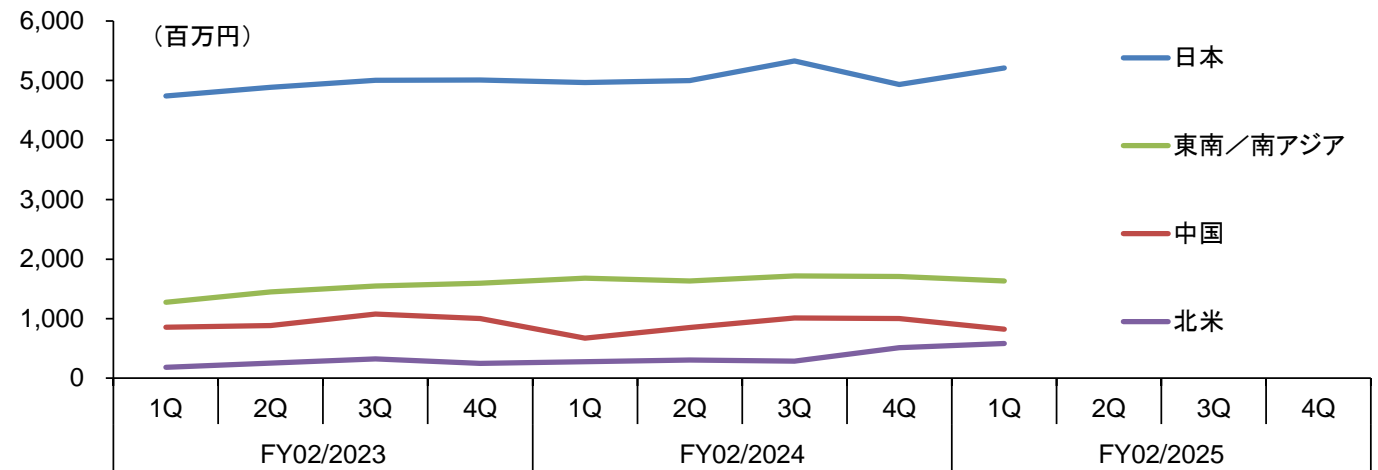
年月	概要
1958年10月	松村石油株式会社より研究室を分離し同社設立
1959年12月	兵庫県西宮市に本社・西宮工場建設 高真空ポンプ油等特殊潤滑油及び合成潤滑油を製品化
1962年3月	水グリコール型難燃性作動液を製品化
1965年12月	千葉県市原市に千葉工場建設 流動パラフィン、石油スルホネートを量産化
1986年9月	兵庫県赤穂市に赤穂工場建設 ホットメルト型接着剤を量産化
1990年11月	赤穂工場第2期工事・潤滑油製造ライン完成
1995年6月	タイ・チョンブリ県に MORESCO (Thailand) Co. Ltd.設立
2001年1月	本社・研究センターを神戸市中央区へ移転
2001年3月	中国・無錫市に台湾企業と合併で無錫徳松科技有限公司設立
2001年11月	大阪市中央区に「MORESCO 本町ビル」を建設し、大阪支店を移転
2001年3月	赤穂工場第3期工事・潤滑油蒸留装置他を西宮工場より移転
2003年2月	タイ・チョンブリ県に MORESCO Holding (Thailand) Co. Ltd.を設立
2003年11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
2006年5月	米国・ミシガン州に MORESCO USA Inc.を設立
2008年7月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場
2009年5月	中国・無錫市に 無錫松村貿易有限公司（現在、無錫莫莱斯柯貿易有限公司）を設立
2009年8月	株式会社花野よりダイカスト用離型剤に関する事業を譲受
2009年9月	商号を株式会社松村石油研究所から株式会社 MORESCO に変更
2010年2月	中国・上海市の莫莱斯柯花野压铸塗料（上海）有限公司を連結子会社化
2011年2月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2011年6月	インドネシア・カラワン県に PT.MORESCO INDONESIA を設立
2012年1月	インドネシア・ジャカルタ市に PT.MORESCO MACRO ADHESIVE を設立
2013年8月	日華化学株式会社よりダイカスト用油剤および熱間鍛造潤滑剤に関する事業を譲受
2014年3月	中国・天津市に 天津莫莱斯柯科技有限公司を設立
2017年2月	インド・グジャラート州アーメダバード市に MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED を設立
2021年4月	「MORESCO 本町ビル」を売却
2022年3月	中国・海寧市に莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を設立
2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
2022年11月	中国・海寧市に莫莱斯柯貿易(浙江)有限公司を設立
2023年10月	持分法適用関連会社であった無錫徳松科技有限公司の持分すべてを取得し連結子会社化
2023年10月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行
2023年10月	CROSS TECHNOLOGIES GROUP, INC.より事業の全てを譲受け、米国・ミシガン州に CROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.を設立

4.0 業績推移

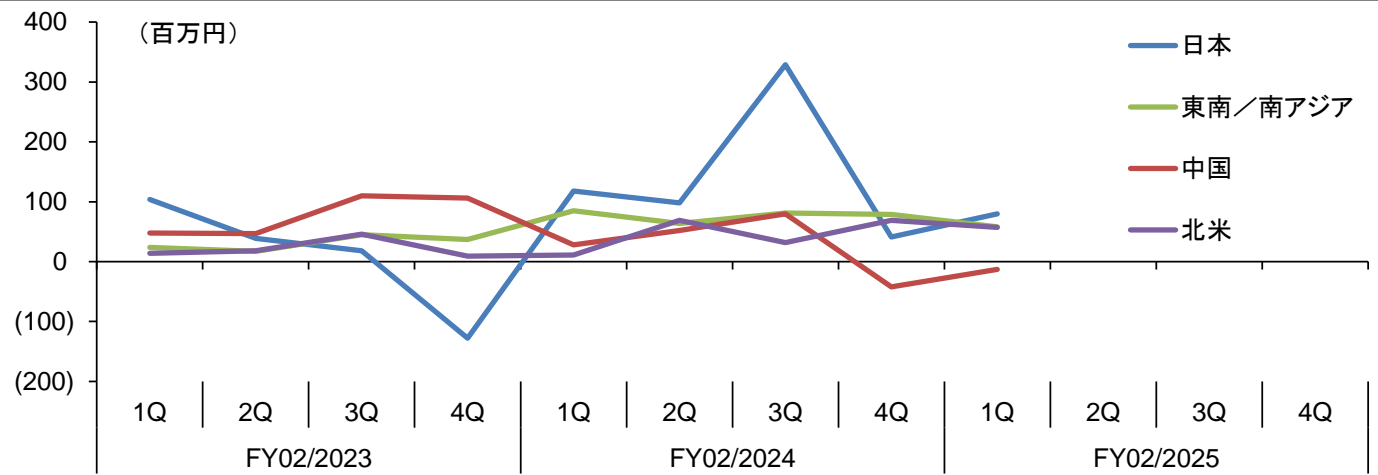
2025年2月期第1四半期

2025年2月期第1四半期は、売上高 8,254 百万円（前年同期比 8.7%増）、営業利益 189 百万円（26.3%減）、経常利益 450 百万円（13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 250 百万円（11.6%増）での着地である。営業外損益においては、純益 261 百万円（前年同期：純益 138 百万円）が計上されている。為替が円安に振れていることもあり、為替差益 145 百万円（前年同期：70 百万円）が計上されていることが大きな影響を及ぼしているとのことである。

売上高（セグメント別）



セグメント利益



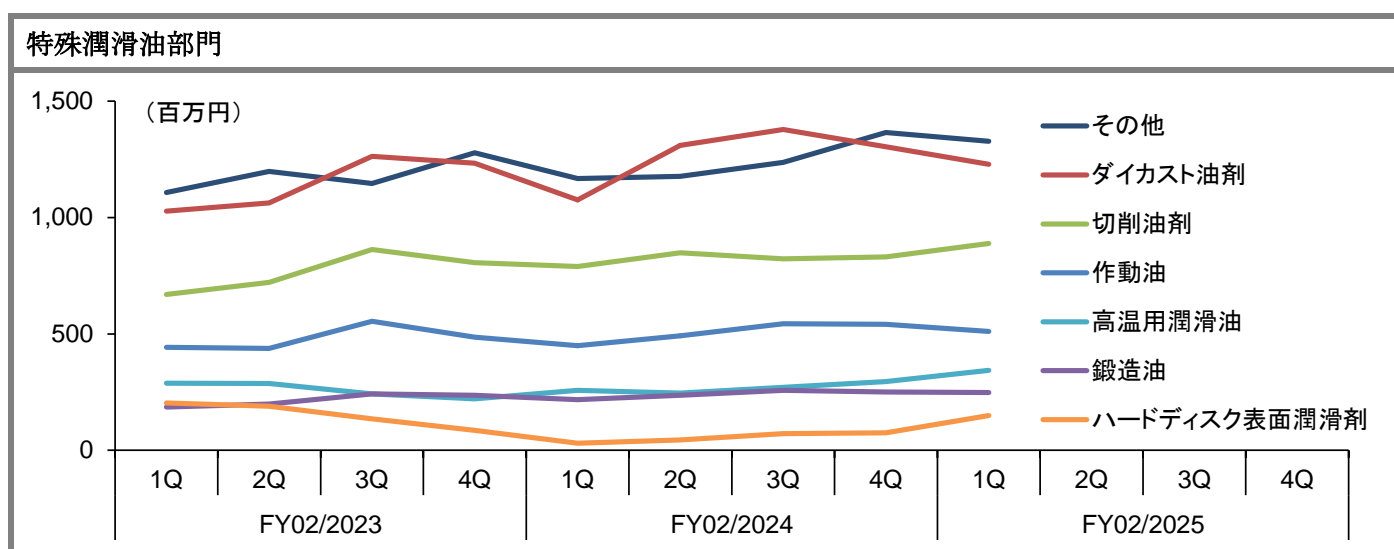
出所：会社データ、弊社計算

また、売上総利益 2,330 百万円（11.9%増）、販売管理費 2,140 百万円（17.2%増）であり、売上総利益率 28.2%（0.8%ポイント上昇）、売上高販売管理費率 25.9%（1.9%ポイント上昇）である。結果、営業利益率 2.3%（1.1%ポイント低下）である。国内外で販売数量が増加していることに加えて、原材料調達コストの上昇に対処するための販売価格の是正が進捗しているとのことで、売上総利益率は比較的に高い水準を維持している。ただし、販売管理費の増加によるインパクトがより大きく、営業利益率の低下及び営業利益の減少が発生している。

2023年10月、同社は、無錫徳松科技有限公司（中国）及び CROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.（米国）の両社を新規に連結対象子会社としている。以来未だ1年が経過していない第1四半期（3-5月）の実績における前年同期との比較においては、両社の販売管理費が同社としての販売管理費をその分だけ押し上げている側面があることに加えて、追加的な初期費用の拠出が引き続いている側面も認められるとのことである。また、前者に関しては、同社としての販売管理費を押し上げている一方で、基本的に同社の製品の製造子会社であることから同社としての売上高に対する寄与がほとんど発生していないとのことである。第1四半期においては、以上に加えて継続性のある特定の開発案件に係る費用の拠出が集中的に行われている側面もあることから、同社としての販売管理費は前年同期に対して大きく拡大している一方、売上高に対する比率は大きく上昇している。

特殊潤滑油部門（売上高構成比 56.9%）

2025年2月期第1四半期において売上高4,696百万円（17.7%増）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高19,500百万円（10.9%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である2027年2月期に対して売上高21,600百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は7.1%となる。



出所：会社データ

同社は、この部門における拡販に向けての施策を打ち出している。2023年8月22日、同社は、米国に所在する CROSS TECHNOLOGIES GROUP, Inc.（CROSS社）との事業譲受契約を締結（譲受完了：2023年10月20日）したことを開示しているのだが、これをもって現地におけるダイカスト用離型剤の市場シェアを引き上げていくとしている。ダイカスト用離型剤とは、プランジャー潤滑油と共にこの部門の主力であるダイカスト油剤を構成している製品のことである。また、CROSS社は、ダイカスト用離型剤に加えて、金属加工油、ポリウレタン、複合材産業向けの潤滑剤、更には、ダイカスト用離型剤などに使用する原材料を製造・販売しているとのことである。

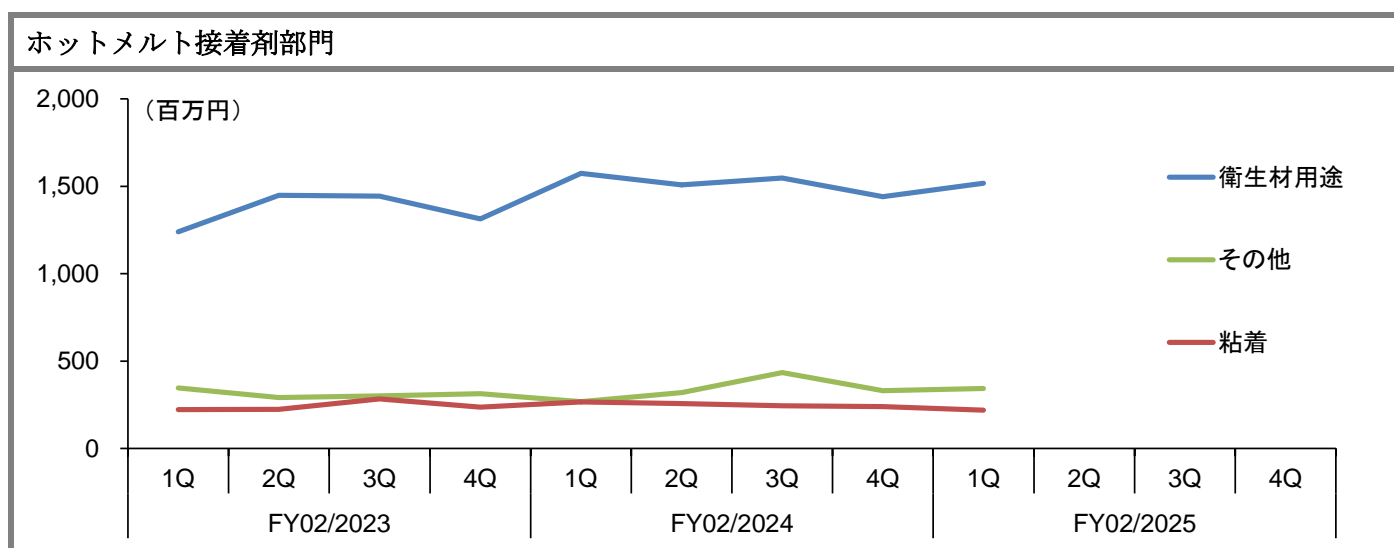
同社は、今般の事業譲受をもって現地で初となる生産拠点を確保することになることもあり、現地での製品安定供給を強化していくことが可能となっている。また、潤滑油に係る原材料の内製化や開発に直接関与していくことから、従来以上に高性能の製品を量産することができるようになることとされている。更には、相手側の販路を活用して現地の自動車部品メーカーなどへの製品の納入を強化していくとのことである。

米国におけるダイカスト用離型剤に関しては現地での市場シェアが概ね 3%（会社推計値、以下同様）ほどに留まっているのだが、CROSS 社との合算ではこれが概ね 7%ほどまでに相当するとのことである。今後に向けては、両者の強みを活かした相乗効果を追求して、2030 年迄に市場シェアにして概ね 15%ほどを達成することを目標としているとのことである。

一方、2025 年 2 月期第 1 四半期の実績における同社としてのセールスマックスにおいては、売上総利益率の高い製品の増収による寄与が、売上総利益率が低い製品の増収によって概ね打ち消されている状況とされている。また、前者の最大の事例として挙げられているのが、ハードディスク表面潤滑剤で売上高 149 百万円（397%増）が達成されていることである。売上高の規模は限定的なのだが、同社としての売上総利益率に対して一定水準を超える度合いに及んで影響を及ぼす傾向にあるとされている。

ホットメルト接着剤部門（売上高構成比 25.2%）

2025 年 2 月期第 1 四半期において売上高 2,081 百万円（1.3%減）である一方、2025 年 2 月期に対する会社予想では売上高 8,400 百万円（0.4%減）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である 2027 年 2 月期に対して売上高 9,600 百万円が計画されており、2024 年 2 月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は 4.4%となる。

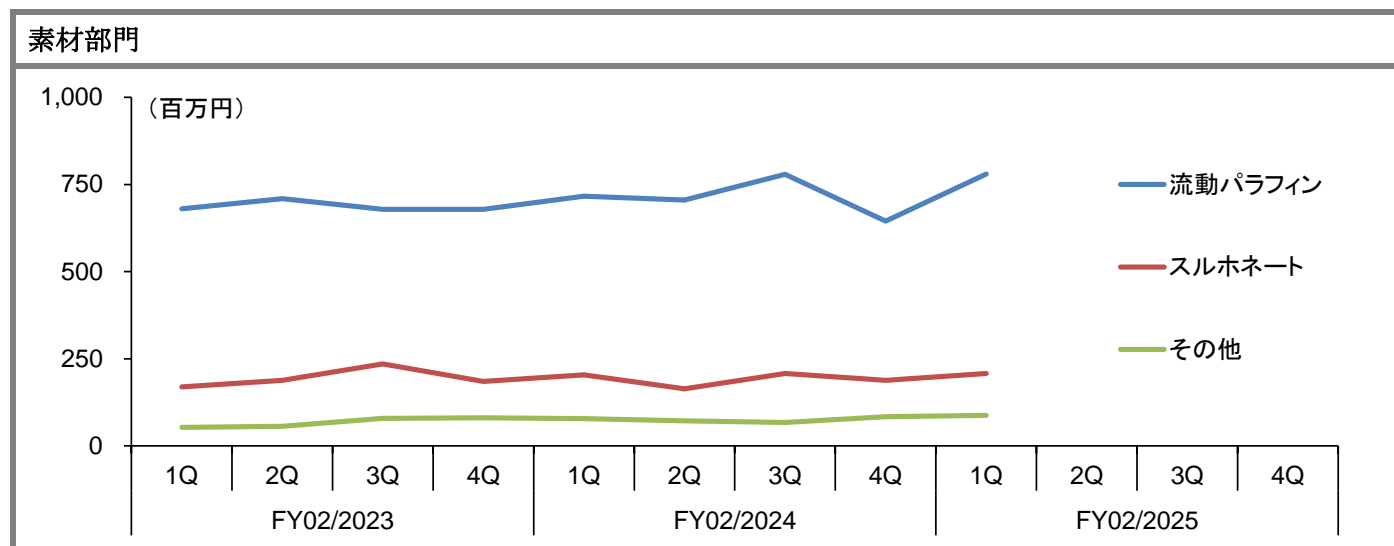


出所：会社データ

主力の衛生材料用途（主に紙オムツ）に関しては、日本での売上高は好調に推移しているのだが、東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド）では現地での在庫調整に伴う売上高の伸び悩みが発生しているとのことである。なお、同社によれば、同社が進めている、ペロブスカイト太陽電池の実用化を促進する封止材の開発において、この部門で培った技術が重要な要素として用いられているとのことである。

素材部門（売上高構成比 13.0%）

2025年2月期第1四半期において売上高1,076百万円（7.8%増）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高4,000百万円（2.3%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である2027年2月期に対して売上高4,300百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は3.2%となる。

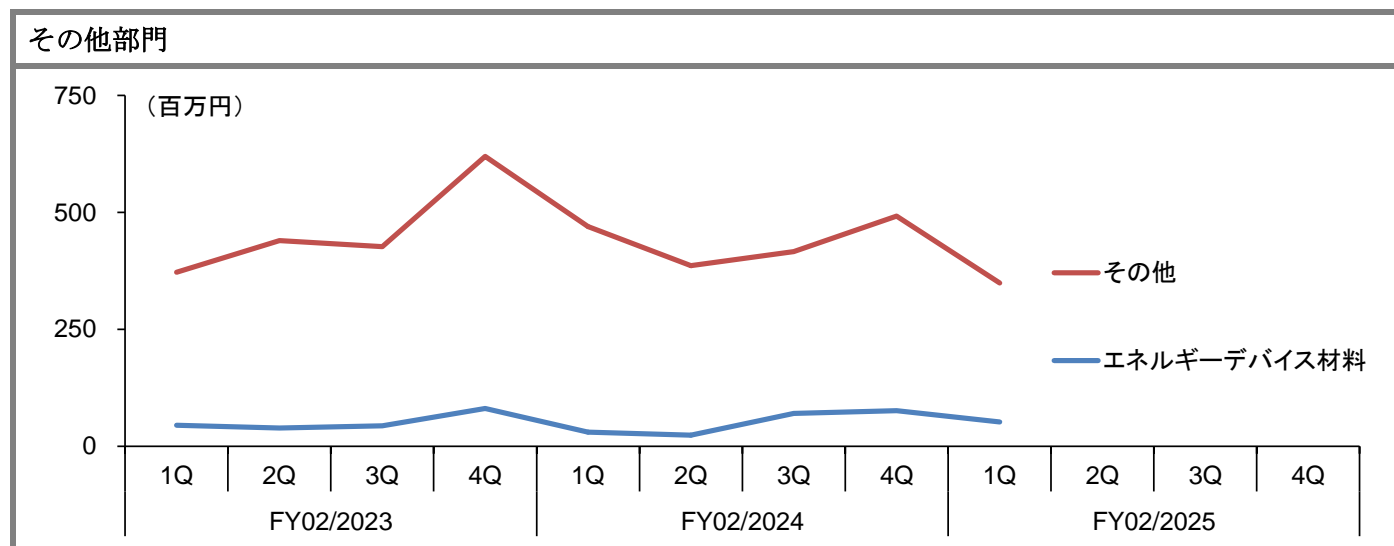


出所：会社データ

主力の流動パラフィンで着実な増収が達成されている。流動パラフィンの中核を占めるとされるポリスチレン（可塑剤）用途における需要が回復しているとのことである。例えば、食品トレー製造などにおける添加剤などとして用いられる場合が多いとされている。

その他部門（売上高構成比 4.9%）

2025年2月期第1四半期において売上高 401 百万円（19.8%減）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高 2,100 百万円（7.0%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である2027年2月期に対して売上高 2,500 百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は8.4%となる。



出所：会社データ

2025年2月期第1四半期の実績においては、エネルギーデバイス材料で売上高 52 百万円（71.4%増）、その他で売上高 349 百万円（25.7%減）である。そもそも両者は独立した部門なのだが、中期経営計画においては、両者を併せて1つの部門として取り扱われている。エネルギーデバイス材料においては、有機 EL に用いられる封止材や関連装置の開発・製造・販売などが展開されている。一方、その他の売上高の過半は株式会社マツケン（100%子会社）による、技術コンサルティング企業としての、排水処理装置及び排水処理剤（消耗品）の販売によって創出されているとのことである。2025年2月期に向けては、大型プロジェクトに係る納入が予定されており、売上高が堅調に推移する見込みとのことである。

なお、同社は、ホットメルト接着剤部門で培った技術を重要な要素として用いてペロブスカイト太陽電池の実用化を促進する封止材の開発を進めているのだが、エネルギーデバイス材料において培った技術の転用及び応用に関しても同様に重要な要素となっているとのことである。同社が試作に取り組んでいる封止材の特徴として挙げられているのは、「直接貼り合わせてもペロブスカイト素子にダメージを与えない」並びに「基材に貼り合わせるだけで優れた密着性を発揮（加熱や UV 処理が不要）」である。同社によれば、将来に向けての商業ベースでの製造や販売も視野に入っているとのことである。2026年を目途としてペロブスカイト太陽電池の実用化に対応できる製品を市場に投入することを目指しているとのことである。

損益計算書（四半期累計／四半期）

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	-	-	-	-	+658
売上原価	5,513	11,188	17,108	22,902	5,925	-	-	-	-	+412
売上総利益	2,083	4,197	6,623	8,984	2,330	-	-	-	-	+247
販売費及び一般管理費	1,826	3,669	5,572	7,759	2,140	-	-	-	-	+314
営業利益	257	528	1,050	1,225	189	-	-	-	-	(68)
営業外損益	138	405	649	601	261	-	-	-	-	+123
経常利益	395	933	1,699	1,826	450	-	-	-	-	+55
特別損益	-	-	250	229	(48)	-	-	-	-	(48)
税金等調整前純利益	395	933	1,949	2,055	402	-	-	-	-	+7
法人税等合計	125	262	455	606	111	-	-	-	-	(14)
非支配株主に帰属する当期純利益	47	102	159	165	42	-	-	-	-	(5)
親会社株主に属する当期純利益	224	569	1,335	1,283	250	-	-	-	-	+26
売上高伸び率	+7.7%	+5.9%	+5.6%	+5.1%	+8.7%	-	-	-	-	-
営業利益伸び率	+28.0%	+78.8%	+105.5%	+134.2%	(26.3%)	-	-	-	-	-
経常利益伸び率	(16.1%)	+10.4%	+48.6%	+74.6%	+13.8%	-	-	-	-	-
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(29.5%)	+13.0%	+85.8%	+108.8%	+11.6%	-	-	-	-	-
売上総利益率	27.4%	27.3%	27.9%	28.2%	28.2%	-	-	-	-	+0.8%
売上高販売管理費率	24.0%	23.8%	23.5%	24.3%	25.9%	-	-	-	-	+1.9%
営業利益率	3.4%	3.4%	4.4%	3.8%	2.3%	-	-	-	-	(1.1%)
経常利益率	5.2%	6.1%	7.2%	5.7%	5.5%	-	-	-	-	+0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	3.7%	5.6%	4.0%	3.0%	-	-	-	-	+0.1%
法人税等合計／税金等調整前純利益	31.6%	28.1%	23.3%	29.5%	27.6%	-	-	-	-	(4.0%)

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025	
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	-	-	-	+658
売上原価	5,513	5,675	5,920	5,794	5,925	-	-	-	+412
売上総利益	2,083	2,114	2,426	2,361	2,330	-	-	-	+247
販売費及び一般管理費	1,826	1,843	1,903	2,187	2,140	-	-	-	+314
営業利益	257	271	522	175	189	-	-	-	(68)
営業外損益	138	267	244	(48)	261	-	-	-	+123
経常利益	395	538	766	127	450	-	-	-	+55
特別損益	-	-	250	(21)	(48)	-	-	-	(48)
税金等調整前純利益	395	538	1,016	106	402	-	-	-	+7
法人税等合計	125	137	193	151	111	-	-	-	(14)
非支配株主に帰属する当期純利益	47	55	57	6	42	-	-	-	(5)
親会社株主に属する当期純利益	224	345	766	(52)	250	-	-	-	+26
売上高伸び率	+7.7%	+4.2%	+4.9%	+3.8%	+8.7%	-	-	-	-
営業利益伸び率	+28.0%	+188.3%	+141.7%	-	(26.3%)	-	-	-	-
経常利益伸び率	(16.1%)	+43.5%	+157.0%	-	+13.8%	-	-	-	-
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(29.5%)	+84.5%	+256.3%	-	+11.6%	-	-	-	-
売上総利益率	27.4%	27.1%	29.1%	29.0%	28.2%	-	-	-	+0.8%
売上高販売管理費率	24.0%	23.7%	22.8%	26.8%	25.9%	-	-	-	+1.9%
営業利益率	3.4%	3.5%	6.3%	2.1%	2.3%	-	-	-	(1.1%)
経常利益率	5.2%	6.9%	9.2%	1.6%	5.5%	-	-	-	+0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	4.4%	9.2%	(0.6%)	3.0%	-	-	-	+0.1%
法人税等合計／税金等調整前純利益	31.6%	25.5%	19.0%	142.5%	27.6%	-	-	-	(4.0%)

出所：会社データ、弊社計算

報告セグメント（四半期累計／四半期）

報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
日本	4,968	9,966	15,295	20,229	5,213	-	-	-	+245	
中国	670	1,522	2,532	3,536	824	-	-	-	+154	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	1,679	3,313	5,031	6,737	1,634	-	-	-	(45)	
北米	278	584	872	1,384	583	-	-	-	+305	
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	-	-	-	+658	
日本	118	216	545	586	80	-	-	-	(38)	
中国	28	80	160	118	(13)	-	-	-	(41)	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	85	149	230	309	58	-	-	-	(27)	
北米	11	80	112	181	57	-	-	-	+46	
セグメント利益	242	525	1,046	1,194	183	-	-	-	(59)	
調整額	15	3	4	31	6	-	-	-	(9)	
営業利益	257	528	1,050	1,225	189	-	-	-	(68)	
日本	2.4%	2.2%	3.6%	2.9%	1.5%	-	-	-	(0.8%)	
中国	4.2%	5.3%	6.3%	3.3%	(1.6%)	-	-	-	(5.8%)	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	5.1%	4.5%	4.6%	4.6%	3.5%	-	-	-	(1.5%)	
北米	4.0%	13.7%	12.8%	13.1%	9.8%	-	-	-	+5.8%	
セグメント利益率	3.2%	3.4%	4.4%	3.7%	2.2%	-	-	-	(1.0%)	
調整額	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	-	-	-	(0.1%)	
営業利益率	3.4%	3.4%	4.4%	3.8%	2.3%	-	-	-	(1.1%)	

報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025	
日本	4,968	4,998	5,329	4,934	5,213	-	-	-	+245
中国	670	852	1,010	1,004	824	-	-	-	+154
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	1,679	1,634	1,718	1,706	1,634	-	-	-	(45)
北米	278	306	288	512	583	-	-	-	+305
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	-	-	-	+658
日本	118	98	329	41	80	-	-	-	(38)
中国	28	52	80	(42)	(13)	-	-	-	(41)
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	85	64	81	79	58	-	-	-	(27)
北米	11	69	32	69	57	-	-	-	+46
セグメント利益	242	283	521	148	183	-	-	-	(59)
調整額	15	(12)	1	27	6	-	-	-	(9)
営業利益	257	271	522	175	189	-	-	-	(68)
日本	2.4%	2.0%	6.2%	0.8%	1.5%	-	-	-	(0.8%)
中国	4.2%	6.1%	7.9%	(4.2%)	(1.6%)	-	-	-	(5.8%)
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	5.1%	3.9%	4.7%	4.6%	3.5%	-	-	-	(1.5%)
北米	4.0%	22.5%	11.1%	13.5%	9.8%	-	-	-	+5.8%
セグメント利益率	3.2%	3.6%	6.2%	1.8%	2.2%	-	-	-	(1.0%)
調整額	0.2%	(0.2%)	0.0%	0.3%	0.1%	-	-	-	(0.1%)
営業利益率	3.4%	3.5%	6.3%	2.1%	2.3%	-	-	-	(1.1%)

出所：会社データ、弊社計算

事業部門別売上高（四半期累計／四半期）

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
特殊潤滑油	3,989	8,343	12,922	17,584	4,696	-	-	-	-	+707
素材	998	1,940	2,993	3,909	1,076	-	-	-	-	+78
ホットメルト接着剤	2,108	4,194	6,419	8,430	2,081	-	-	-	-	(27)
エネルギーデバイス材料	30	54	124	200	52	-	-	-	-	+22
その他	470	856	1,272	1,764	349	-	-	-	-	(121)
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	-	-	-	-	+658
特殊潤滑油	+1.7%	+4.1%	+3.7%	+4.6%	+17.7%	-	-	-	-	-
素材	+10.6%	+4.6%	+5.1%	+3.1%	+7.8%	-	-	-	-	-
ホットメルト接着剤	+16.6%	+11.7%	+10.7%	+10.0%	(1.3%)	-	-	-	-	-
エネルギーデバイス材料	(31.9%)	(35.7%)	(3.3%)	(4.6%)	+71.4%	-	-	-	-	-
その他	+26.4%	+5.3%	+2.6%	(5.1%)	(25.7%)	-	-	-	-	-
売上高(前年比)	+7.7%	+5.9%	+5.6%	+5.1%	+8.7%	-	-	-	-	-
特殊潤滑油	52.5%	54.2%	54.5%	55.1%	56.9%	-	-	-	-	-
素材	13.1%	12.6%	12.6%	12.3%	13.0%	-	-	-	-	-
ホットメルト接着剤	27.8%	27.3%	27.0%	26.4%	25.2%	-	-	-	-	-
エネルギーデバイス材料	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%	-	-	-	-	-
その他	6.2%	5.6%	5.4%	5.5%	4.2%	-	-	-	-	-
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025		
特殊潤滑油	3,989	4,354	4,579	4,662	4,696	-	-	-	-	+707
素材	998	942	1,053	916	1,076	-	-	-	-	+78
ホットメルト接着剤	2,108	2,086	2,225	2,011	2,081	-	-	-	-	(27)
エネルギーデバイス材料	30	24	70	76	52	-	-	-	-	+22
その他	470	386	416	492	349	-	-	-	-	(121)
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	-	-	-	-	+658
特殊潤滑油	+1.7%	+6.3%	+3.0%	+7.3%	+17.7%	-	-	-	-	-
素材	+10.6%	(1.2%)	+5.9%	(3.0%)	+7.8%	-	-	-	-	-
ホットメルト接着剤	+16.6%	+7.2%	+8.7%	+7.9%	(1.3%)	-	-	-	-	-
エネルギーデバイス材料	(31.9%)	(38.5%)	+59.1%	(6.2%)	+71.4%	-	-	-	-	-
その他	+26.4%	(12.3%)	(2.6%)	(20.6%)	(25.7%)	-	-	-	-	-
売上高(前年比)	+7.7%	+4.2%	+4.9%	+3.8%	+8.7%	-	-	-	-	-
特殊潤滑油	52.5%	55.9%	54.9%	57.2%	56.9%	-	-	-	-	-
素材	13.1%	12.1%	12.6%	11.2%	13.0%	-	-	-	-	-
ホットメルト接着剤	27.8%	26.8%	26.7%	24.7%	25.2%	-	-	-	-	-
エネルギーデバイス材料	0.4%	0.3%	0.8%	0.9%	0.6%	-	-	-	-	-
その他	6.2%	5.0%	5.0%	6.0%	4.2%	-	-	-	-	-
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

貸借対照表（四半期）

貸借対照表	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
	02/2024	02/2024	02/2024	02/2024	02/2025	02/2025	02/2025	02/2025		
現金及び預金	3,935	3,756	5,952	5,636	4,993	-	-	-	-	+1,058
受取手形及び売掛金	7,462	7,453	8,016	7,942	8,237	-	-	-	-	+775
たな卸資産	6,451	6,378	6,505	6,687	7,035	-	-	-	-	+584
その他	564	566	1,399	724	730	-	-	-	-	+166
流動資産	18,412	18,153	21,872	20,989	20,995	-	-	-	-	+2,583
有形固定資産	8,666	9,114	9,540	10,140	10,280	-	-	-	-	+1,614
無形固定資産	749	744	735	1,228	1,338	-	-	-	-	+589
投資その他の資産合計	4,068	4,166	4,370	4,695	4,754	-	-	-	-	+686
固定資産	13,483	14,024	14,645	16,063	16,372	-	-	-	-	+2,889
繰延資産	18	32	42	-	-	-	-	-	-	(18)
資産合計	31,913	32,208	36,559	37,053	37,367	-	-	-	-	+5,454
支払手形及び買掛金	4,828	4,467	4,581	4,908	4,897	-	-	-	-	+69
短期借入金	2,145	2,096	2,806	3,040	2,892	-	-	-	-	+747
その他	1,787	1,629	2,176	1,912	2,257	-	-	-	-	+470
流動負債	8,760	8,192	9,563	9,860	10,046	-	-	-	-	+1,286
長期借入金	942	887	2,994	3,065	2,762	-	-	-	-	+1,820
その他	667	748	814	1,006	970	-	-	-	-	+303
固定負債	1,609	1,635	3,808	4,071	3,732	-	-	-	-	+2,123
負債合計	10,369	9,827	13,371	13,931	13,778	-	-	-	-	+3,409
株主資本	17,327	17,678	18,254	18,202	18,121	-	-	-	-	+794
その他合計	4,217	4,703	4,934	4,920	5,467	-	-	-	-	+1,250
純資産	21,544	22,381	23,188	23,122	23,588	-	-	-	-	+2,044
負債純資産合計	31,913	32,208	36,559	37,053	37,367	-	-	-	-	+5,454
自己資本	18,743	19,418	20,143	20,126	20,499	-	-	-	-	+1,756
有利子負債	3,087	2,983	5,800	6,105	5,654	-	-	-	-	+2,567
ネットデット	(848)	(773)	(152)	469	661	-	-	-	-	+1,509
自己資本比率	58.7%	60.3%	55.1%	54.3%	54.9%	-	-	-	-	-
ネットデットエクイティ比率	(4.5%)	(4.0%)	(0.8%)	2.3%	3.2%	-	-	-	-	-
ROE(12ヵ月)	2.8%	3.5%	6.3%	6.6%	6.7%	-	-	-	-	-
ROA(12ヵ月)	3.1%	3.6%	4.7%	5.3%	5.4%	-	-	-	-	-
在庫回転日数	106	102	100	105	108	-	-	-	-	-
当座比率	130%	137%	146%	138%	132%	-	-	-	-	-
流動比率	210%	222%	229%	213%	209%	-	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

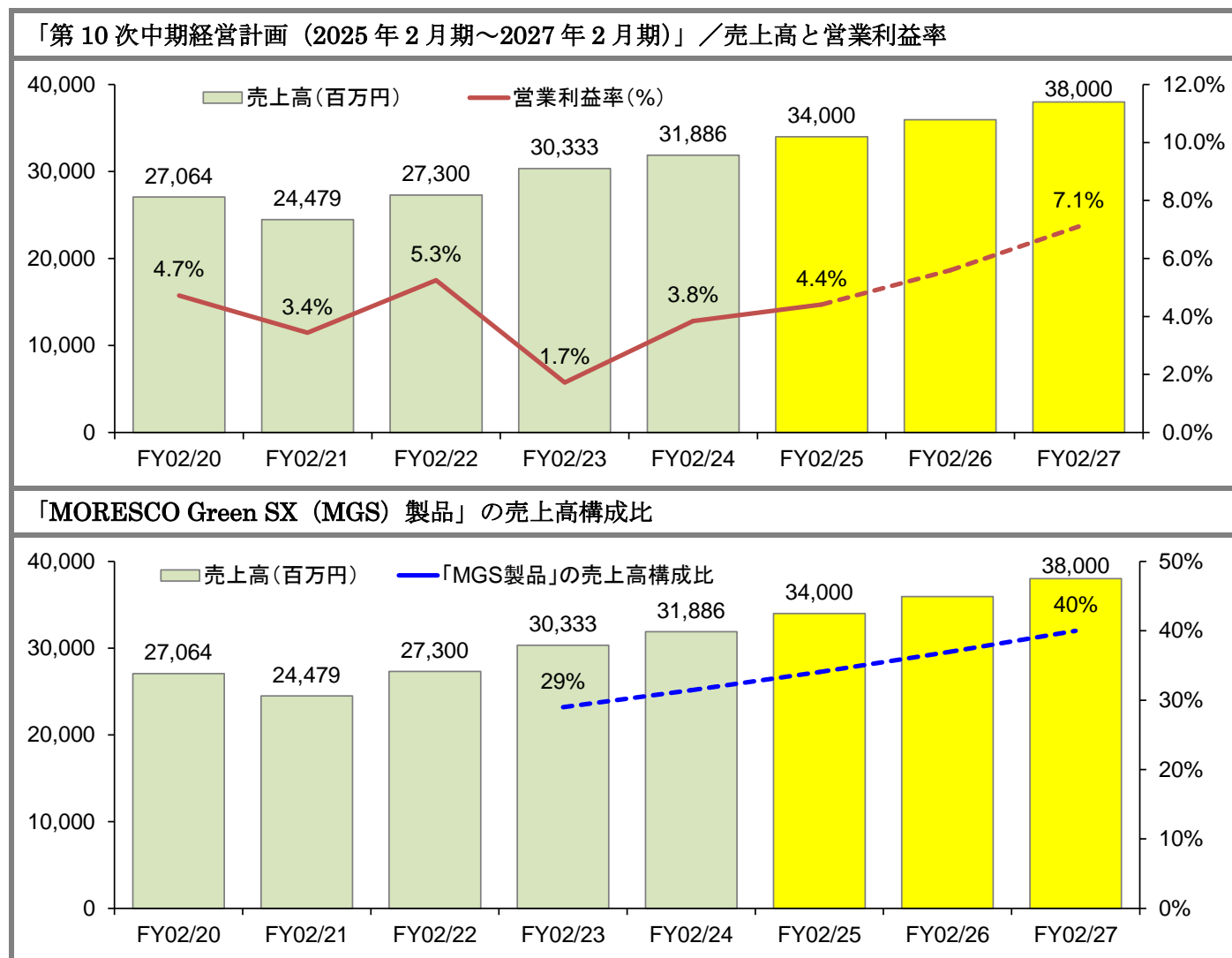
キャッシュフロー計算書（四半期累計）

キャッシュフロー計算書	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計		
	02/2024	02/2024	02/2024	02/2024	02/2025	02/2025	02/2025	02/2025		
(百万円)										
営業活動によるキャッシュフロー	-	1,004	-	2,934	-	-	-	-	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	-	(1,305)	-	(4,250)	-	-	-	-	-	-
営業活動によるCF+投資活動によるCF	-	(301)	-	(1,316)	-	-	-	-	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	-	(115)	-	2,819	-	-	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

中長期業績見通し

2025年2月期に対する当初の会社予想は据え置かれている。売上高 34,000 百万円（前年比 6.6%増）、営業利益 1,500 百万円（22.5%増）、経常利益 1,850 百万円（1.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 1,050 百万円（18.2%減）が見込まれている。また、営業利益率 4.4%（0.6%ポイント上昇）が見込まれている。一方、年間配当金予定も据え置かれている。2025年2月期に対して 45.00 円（配当性向 39.3%）である。



出所：会社データ、弊社計算

また、2024年2月21日、同社は、「第10次中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）」を公表し、「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立を実現することを通して中長期的に持続的な成長を達成していく方針であることを明らかにしている。経営目標として掲げられているのは、最終年度である2027年2月期に対して売上高 38,000 百万円、営業利益 2,700 百万円、経常利益 3,000 百万円、以上を達成することである。また、「MORESCO Green SX (MGS) 製品」で売上高構成比 40%（2023年2月期の実績：29%）を達成することが計画されている。一方、ROEに関しては、最終年度である2027年2月期に対して8%水準（2024年2月期の実績：6.6%）を達成することが計画されている。

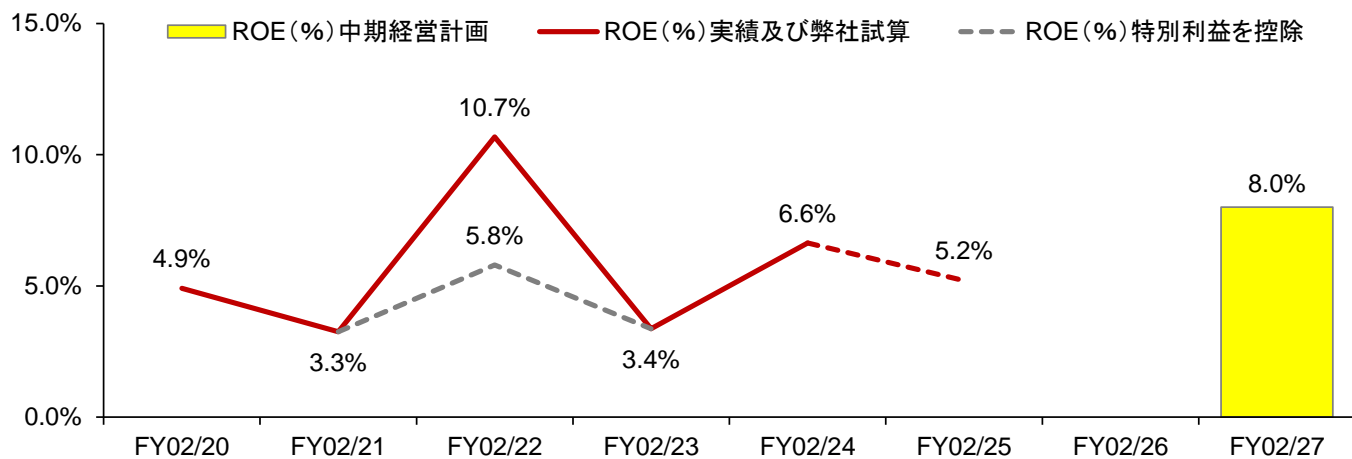
2024年2月期の実績を起点とした場合の当該期間における年平均成長率は、売上高にして6.0%であり、営業利益にして30.1%である。また、営業利益率は3.8%から7.1%へと3.3%ポイント上昇することになる。同社が示唆するところによれば、「MGS製品」の拡販に注力していくことが大きく寄与するとのことである。「MGS製品」とは、環境負担の低減に寄与する高付加価値製品のことであり、代表的な製品として挙げられているのは、「水溶性少量塗布型離型剤 グラフェース MQ シリーズ」と「水-グリコール系難燃性作動液 ハイドール」である。則ち、部門別で主力となる特殊潤滑油部門に帰属する、自動車用途向けのダイカスト用離型剤や基本的に鉄鋼用途向けとされる作動液などに関して、同社は環境負担の低減に寄与する高付加価値製品を開発・製造・販売している一方、今後に向けては、各製品分野におけるこういった付加価値の高い製品の開発・製造・販売に対してリソースを集中していく方針が採用されるに到っている。

「水溶性少量塗布型離型剤 グラフェース MQ シリーズ」に関しては、省エネルギーや環境保全、作業環境改善に寄与する側面が強いことから、同社としてのサステナビリティ経営の推進を目的として既存製品の改良や新製品の開発・製造・販売に注力していくとのことである。また、上述の通りの側面が強いことから付加価値（及び売上総利益率）が高いとされている。また、CO₂排出抑制や環境保全に寄与する「水-グリコール系難燃性作動液 ハイドール」に関しても同様である。

一方、ペロブスカイト太陽電池の実用化を促進する封止材の開発やナノエマルジョン（MORESCO-NANOREACH）を配合した化粧品の開発など、同社は次世代事業の創出に向けても積極的な姿勢を示している。画期的な機能性を有するとされる、同社が独自に開発したナノエマルジョン（MORESCO-NANOREACH）を配合した化粧品に関しては、大手化粧品メーカーから、その優れた特性が高く評価されており、短期的な観点においても同社からの製品調達が始まる可能性が指摘されている。

上述の通りの施策をもって中長期的な成長を目指している同社は、その成長の成果をもって株主還元に取り組んでいくことを「経営上の重要課題」と位置づけており、適正な内部留保に努めつつ株主に対する利益還元を進めていくとしている。具体的な目標として掲げられているのは、中長期的な観点において配当性向30%以上に相当する配当を行うことである。

「第10次中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）」／ROE



出所：会社データ、弊社計算

更には、資本効率の引き上げにも同社は積極的に取り組んでいる。2025年2月期に対する会社予想の前提と2024年2月期の期末における自己資本に鑑みて弊社が試算した場合、2025年2月期に向けて見込まれているROEの水準は5.2%（親会社株主に帰属する当期純利益1,050百万円÷自己資本20,126百万円）となる一方、上述の通り、2027年2月期に向けてはこの水準を8%にまで引き上げていくことが計画されている。なお、2024年2月期の実績に関しては、営業外損益及び特別損益の両段階において一時的な利益が計上されていることから、実態を上回るROEの水準が達成されている側面が認められる一方、同社が開示しているところによれば、特別利益を控除した場合の2022年2月期におけるROEの水準は5.8%に留まっているとのことである。

2025年2月期に対する会社予想

連結通期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

5.0 財務諸表

損益計算書

損益計算書	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結予想 通期	前年比 純増減
(百万円)	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
売上原価	18,330	16,640	18,575	22,204	22,902	-	-
売上総利益	8,734	7,838	8,725	8,129	8,984	-	-
販売費及び一般管理費	7,456	6,996	7,291	7,606	7,759	-	-
営業利益	1,279	842	1,434	523	1,225	1,500	+275
営業外損益	289	188	577	523	601	350	(251)
経常利益	1,568	1,030	2,011	1,046	1,826	1,850	+24
特別損益	-	(119)	833	-	229	-	-
税金等調整前純利益	1,568	911	2,844	1,046	2,055	-	-
法人税等合計	540	240	831	320	606	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	251	153	205	112	165	-	-
親会社株主に属する当期純利益	776	518	1,808	615	1,283	1,050	(233)
売上高伸び率	(6.0%)	(9.6%)	+11.5%	+11.1%	+5.1%	+6.6%	-
営業利益伸び率	(34.4%)	(34.1%)	+70.3%	(63.5%)	+134.2%	+22.5%	-
経常利益伸び率	(28.8%)	(34.3%)	+95.3%	(48.0%)	+74.6%	+1.3%	-
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(46.0%)	(33.3%)	+249.1%	(66.0%)	+108.8%	(18.2%)	-
売上総利益率	32.3%	32.0%	32.0%	26.8%	28.2%	-	-
売上高販売管理費率	27.5%	28.6%	26.7%	25.1%	24.3%	-	-
営業利益率	4.7%	3.4%	5.3%	1.7%	3.8%	4.4%	+0.6%
経常利益率	5.8%	4.2%	7.4%	3.4%	5.7%	5.4%	(0.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	2.1%	6.6%	2.0%	4.0%	3.1%	(0.9%)
法人税等合計/税金等調整前純利益	34.4%	26.3%	29.2%	30.6%	29.5%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

報告セグメント

報告セグメント	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結予想 通期	前年比 純増減
(百万円)	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
日本	19,005	17,220	18,385	19,637	20,229	-	-
中国	2,919	2,957	3,625	3,814	3,536	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	4,427	3,671	4,501	5,870	6,737	-	-
北米	713	631	789	1,011	1,384	-	-
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
日本	909	438	805	33	586	-	-
中国	251	350	432	311	118	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	143	6	86	123	309	-	-
北米	(21)	43	107	87	181	-	-
セグメント利益	1,283	837	1,431	553	1,194	-	-
調整額	(4)	5	4	(30)	31	-	-
営業利益	1,279	842	1,434	523	1,225	1,500	+275
日本	4.8%	2.5%	4.4%	0.2%	2.9%	-	-
中国	8.6%	11.8%	11.9%	8.2%	3.3%	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	3.2%	0.2%	1.9%	2.1%	4.6%	-	-
北米	(2.9%)	6.8%	13.6%	8.6%	13.1%	-	-
セグメント利益率	4.7%	3.4%	5.2%	1.8%	3.7%	-	-
調整額	(0.0%)	0.0%	0.0%	(0.1%)	0.1%	-	-
営業利益率	4.7%	3.4%	5.3%	1.7%	3.8%	4.4%	+0.6%

出所: 会社データ、弊社計算

事業部門別売上高

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 02/2020	通期 02/2021	通期 02/2022	通期 02/2023	通期 02/2024	通期 02/2025	
特殊潤滑油	14,655	12,438	14,995	16,808	17,584	19,500	+1,916
素材	3,720	3,385	3,480	3,793	3,909	4,000	+91
ホットメルト接着剤	6,882	6,807	6,785	7,664	8,430	8,400	(30)
エネルギーデバイス材料	126	113	237	209	200	-	-
その他	1,628	1,682	1,794	1,859	1,764	-	-
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
特殊潤滑油	(7.0%)	(15.1%)	+20.6%	+12.1%	+4.6%	+10.9%	-
素材	(4.0%)	(9.0%)	+2.8%	+9.0%	+3.1%	+2.3%	-
ホットメルト接着剤	(6.0%)	(1.1%)	(0.3%)	+13.0%	+10.0%	(0.4%)	-
エネルギーデバイス材料	-	(10.3%)	+109.9%	(11.8%)	(4.6%)	-	-
その他	(5.3%)	+3.3%	+6.6%	+3.6%	(5.1%)	-	-
売上高(前年比)	(6.0%)	(9.6%)	+11.5%	+11.1%	+5.1%	+6.6%	-
特殊潤滑油	54.1%	50.8%	54.9%	55.4%	55.1%	57.4%	-
素材	13.7%	13.8%	12.7%	12.5%	12.3%	11.8%	-
ホットメルト接着剤	25.4%	27.8%	24.9%	25.3%	26.4%	24.7%	-
エネルギーデバイス材料	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%	0.6%	-	-
その他	6.0%	6.9%	6.6%	6.1%	5.5%	-	-
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

出所: 会社データ、弊社計算

貸借対照表

貸	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	
	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
現金及び預金	3,576	4,108	4,001	4,256	5,636	-	-
受取手形及び売掛金	6,720	6,643	6,844	7,595	7,942	-	-
たな卸資産	4,779	4,242	5,326	6,306	6,687	-	-
その他	361	311	436	653	724	-	-
流動資産	15,436	15,304	16,607	18,810	20,989	-	-
有形固定資産	9,034	8,518	8,304	8,610	10,140	-	-
無形固定資産	1,046	792	633	589	1,228	-	-
投資その他の資産合計	2,613	3,093	3,465	4,002	4,695	-	-
固定資産	12,693	12,403	12,401	13,202	16,063	-	-
繰延資産	-	-	-	6	-	-	-
資産合計	28,129	27,707	29,008	32,017	37,053	-	-
支払手形及び買掛金	4,072	3,975	4,308	5,144	4,908	-	-
短期借入金	2,341	2,544	560	2,381	3,040	-	-
その他	1,650	1,602	2,392	2,074	1,912	-	-
流動負債	8,063	8,121	7,260	9,599	9,860	-	-
長期借入金	1,244	775	350	472	3,065	-	-
その他	612	649	847	707	1,006	-	-
固定負債	1,856	1,424	1,197	1,179	4,071	-	-
負債合計	9,919	9,545	8,457	10,778	13,931	-	-
株主資本	15,939	15,836	17,227	17,287	18,202	-	-
その他合計	2,270	2,327	3,324	3,953	4,920	-	-
純資産	18,209	18,163	20,551	21,240	23,122	-	-
負債純資産合計	28,129	27,707	29,008	32,017	37,053	-	-
自己資本	15,931	15,899	17,962	18,533	20,126	-	-
有利子負債	3,585	3,319	910	2,853	6,105	-	-
ネットデット	9	(789)	(3,091)	(1,403)	469	-	-
自己資本比率	56.6%	57.4%	61.9%	57.9%	54.3%	-	-
ネットデットエクイティ比率	0.1%	(5.0%)	(17.2%)	(7.6%)	2.3%	-	-
ROE(12ヵ月)	4.9%	3.3%	10.7%	3.4%	6.6%	-	-
ROA(12ヵ月)	5.6%	3.7%	7.1%	3.4%	5.3%	-	-
在庫回転日数	95	93	104	103	106	-	-
当座比率	128%	132%	149%	123%	138%	-	-
流動比率	191%	188%	229%	196%	213%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	
(百万円)	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
営業活動によるキャッシュフロー	1,771	2,088	2,333	515	2,934	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(1,589)	(660)	603	(1,172)	(4,250)	-	-
営業活動によるCF+投資活動によるCF	182	1,428	2,936	(657)	(1,316)	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	78	(1,019)	(2,937)	1,227	2,819	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1株当たりデータ

1株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	連結実績 通期 02/2020	連結実績 通期 02/2021	連結実績 通期 02/2022	連結実績 通期 02/2023	連結実績 通期 02/2024	連結予想 通期 02/2025	前年比 純増減
期末発行済株式数(千株)	9,697	9,697	9,697	9,697	9,697	-	-
当期純利益/EPS(千株)	9,591	9,577	9,380	9,291	9,230	-	-
期末自己株式数(千株)	98	321	317	469	464	-	-
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整後)	80.91	54.09	192.76	66.19	139.01	114.50	-
1株当たり純資産	1,659.74	1,695.81	1,914.94	2,008.49	2,179.85	-	-
1株当たり配当金	50.00	40.00	40.00	40.00	45.00	45.00	-
1株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	連結実績 通期 02/2020	連結実績 通期 02/2021	連結実績 通期 02/2022	連結実績 通期 02/2023	連結実績 通期 02/2024	連結予想 通期 02/2025	前年比 純増減
株式分割ファクター	1	1	1	1	1	1	-
1株当たり当期純利益	80.91	54.09	192.76	66.19	139.01	114.50	-
1株当たり純資産	1,659.74	1,695.81	1,914.94	2,008.49	2,179.85	-	-
1株当たり配当金	50.00	40.00	40.00	40.00	45.00	45.00	-
配当性向	61.8%	74.0%	20.8%	60.4%	32.4%	39.3%	-

出所: 会社データ、弊社計算

Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR情報」とは、即ち、当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容などである。

商号: 株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目14番8号 銀座石井ビル4階

URL: <https://walden.co.jp/>

E-mail: info@walden.co.jp

Tel: 03-3553-3769